

JACET SLA研究会
2023年度第2回公開講演会

◇講演タイトル：

第二言語読解とワーキングメモリ

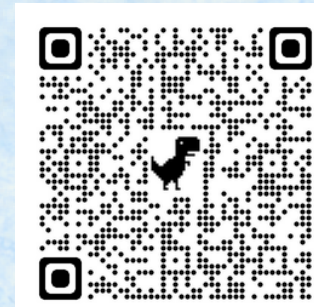
◇講師：

土方裕子先生(筑波大学)

◇日時：7月22日(土) 15:00-16:30

◇形式：オンライン (Zoom, 定員100名)

参加費無料, 要事前申込(先着順)



申込サイト

◇申込：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScXT3mmGwxnITc33RI2XqzzGWsfWoJ-t9fXnkzcTuLCmYuFLg/viewform?usp=sf_link

後日Zoomリンクをお知らせします

～皆様、ふるってご参加ください～

講師紹介：土方裕子先生

筑波大学第一学群人文学類卒業，筑波大学大学院人文社会科学研究科修了，博士(言語学)。現在，筑波大学人文社会系准教授。研究領域は英語教育学，第二言語リーディング，心理言語学，職業目的のための英語。

著書に“The chunking process of Japanese EFL readers focusing on verb bias, L2 reading proficiency, and working memory” (Lambert Academic Publishing) など。

講演概要：

第二言語読解には単語認知や文解析，推論生成など複数の要因が関わる (e.g., Grabe & Stoller, 2020)。本報告では，その中の一つである「ワーキングメモリ」に着目し，第二言語読解に果たすワーキングメモリの役割と，学習者の認知的負荷を軽減する読解指導への示唆について検討する。

まず，これまで提唱されてきた複数のワーキングメモリのモデルを比較し，特に第二言語習得に強く関連するのはワーキングメモリのどの側面かを論じる。次に，リーディングスパンテストや演算スパンテストなど，ワーキングメモリ容量を測定するスパンテストの実施方法や採点方法を紹介する。続いて，言語理解とワーキングメモリの関係を検証した最近のメタ分析を何本かレビューし，学習者のワーキングメモリ容量がどの程度第二言語読解に影響を与えるかを検討する。最後に，学習者の認知的負荷を軽減するための指導方法を模索する。

主催：JACET SLA研究会

共催：東京外国語大学 英語学習支援センター